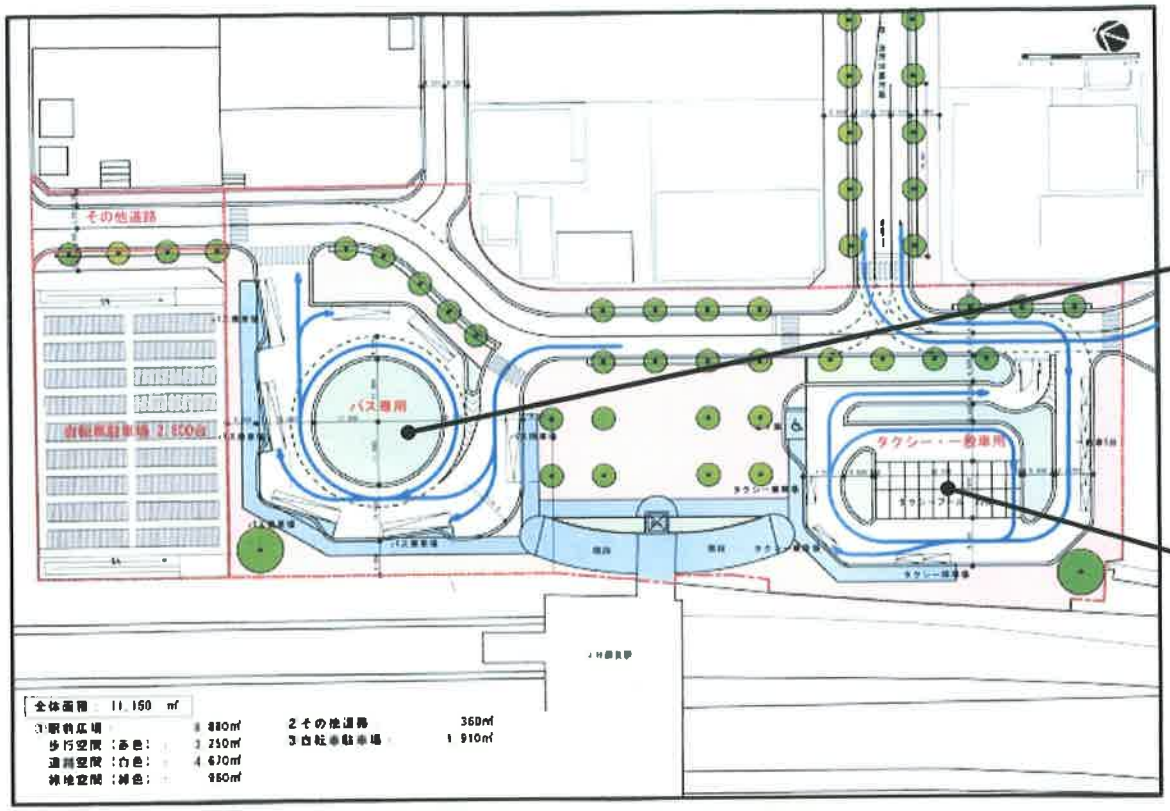
蘇我駅東口・駅前広場再整備へ！



同じく酒井議員の代表質問において、ＪＲ蘇我駅東口の広場再整備についても前向きな答弁がありました。

■事業着手へ前進！

「広場に隣接した地権者に対し意向調査を実施したところ、以前は反対であった地権者からも事業化に対し概ねの理解が得られた。」

「来年度に基本計画を取りまとめ、平成２７年度に都市計画決定を行うことを目指し、事業着手に取り組んでいく。」との答弁がありました。

■再三の訴えが実る

本事業については、平成１９年、平成２４年の一般質問を始め、様々な機会を通じ、政令市移行前から変わり映えしない広場の拡張を訴えてまいりました。

「副都心・蘇我」の玄関口として、より便利で周辺地域に活力をもたらす駅に生まれ変わることに期待がかかります。

千葉日報　（日刊）　2013年（平成25年）12月7日（土曜日）

千葉

12月議会代表質問

蘇我駅東口広場再整備へ

15年度中にも都市計画決定

12月定例市議会の代表質問は6日も行われ、市はJR蘇我駅（中央区）の東口広場を拡張再整備する方針を明らかにした。市では来年度中に基本計画をまとめ、2015年度中にも都市計画決定する方針。

蘇我駅には内房、外房、京葉の3路線が乗り入れている。南側の西口は、大型商業施設や蘇我スポーツ公園がある蘇我副都心の玄関口として利用されている。東口広場は昭和40年代前半に整備され、駅乗降客の増加が見込まれることから「広場周辺の地権者に意向調査を実施。再整備に対して以前は反対の意向を示していた地権者からも、おおむねの理解が得られたという。

答弁で徳水幸久副市長は「バス乗降場が手狭でバスとタクシー、マイカーの動線が交錯するなどの課題が出ている」と指摘。今後も駅周辺の未利用地に住宅が整備され、駅乗降客の増加が見込まれることから「広場の拡張整備が必要」と述べた。

市では今年6～9月、広場周辺の地権者に意向調査を実施。再整備に対して以前は反対の意向を示していた地権者からも、おおむねの理解が得られたという。

16年度をめどに試行運行目指す

京葉、りんかい線直通運転

熊谷俊人市長は代表質問で、JR京葉線と東京臨海高速鉄道（りんかい線）の相互直通運転の効果を検証するために、2016年度をめどに試行運行の実施を目指す意向を示した。

市では来年度中にも京葉線沿線の自治体と協力して、新木場駅や東京駅での乗り換え利用客を対象にした実態調査やアンケート実施を検討している。

熊谷市長は直通運転が実現すれば、蘇我から新木場を経由して渋谷や新宿、埼玉方面への「アクセスが格段に向上する」と説明。鉄道事業者と協力し、ホームライナー号による試行運行を目指す考えを明らかにした。ICカードでの運賃徴収が課題となっており、両線の直通運転は実現していない。

公明党の酒井伸二議員、未来創造ちばの小田求議員、共産党の中村公江議員が代表質問した。

福祉巡回車など寄贈

県生保協会、県内10団体に

県生命保険協会（佐々木対郎会長）は、中央区の

の代表者ら

千葉日報WEB
http://www.chibanippo.co.jp/
メールアドレス
c-nippo@chibanippo.co.jp

本社●〒
TEL 043(222)9215
FAX 043(224)7001

催しや公演などの情報がございましたらお知らせください。

12月7日付・千葉日報に掲載された記事